

●□

日産合成工業株式会社 メールマガジン

2021・8 第175号

●□

宮沢賢治は「雨にも負けず風にも負けず 雪にも夏の暑さにも負けぬ 丈夫なからだをもち」と詠んでいますが、この暑さでは丈夫なからだもさすがにまいってしまいます。冷涼といわれる北海道でも、連日 30℃越えですから、地球温暖化を実感せざるを得なくなってきました。こんな中、オリンピックが開催されました。開催に当たっては賛否両論が渦まいていますが、ピクトグラムやドローンの地球、やはり何といても注目選手の動向には気がになって、ついテレビにくぎ付けになっています。スケートボードやBMX などの目新しい競技もあり、従来の「ど根性競技」よりも、軽快に楽しむように見える競技は時代の流れなのかもしれません。



さて、霞ヶ浦でワカサギ漁が解禁となって、観光帆引き船が始まったとの事で、土浦港からジェットホイールつくば号に乗り込みました。港はべたなぎでしたが、沖に出ると心

地よく風が吹き抜け、遠くには筑波山の秀麗が見渡せました。船に揺られること20分余り、帆引き船が見えてきました。パラシュートの生地で作ったような帆に吹き抜ける風をいっぱい受けて網を引く姿は、まさに一服の絵です。風の強弱によって帆の高さを変えて、一定の速度になるように調節するとかですが、やはり長年の技なのでしょう。エンジンを使わずに網を引くのは、まさにエコそのものです。霞ヶ浦は琵琶湖に次ぐ大きさで、魚もたくさん取れるし、佃煮として売られている魚の種類も多く、豊かな湖です。流入する河川は56本を数えますが、平均水深が4mと浅く、富栄養化が問題となっています。2018年には、5千人が参加した第17回世界湖沼会議が当地で開催され、湖水の浄化が大きく取り上げられました。

霞ヶ浦の水は産業や生活に密着していますが、その中でも1979年に工事が始まり、30年余をかけて竣工した霞ヶ浦用水事業が最たるものでしょうか。くみ上げられた水は筑波山の真下を通り、西は埼玉や栃木県境までの17市町村に送られています。人造湖も作られ、約2万ヘクタールの田畑を潤し、水道水や工業用水としても利用されています。また最近では、1984年から開始された霞ヶ浦導水事業があります。霞ヶ浦と利根川および那珂川を結ぶ用水路です。利根川と霞ヶ浦間の約2.6kmを結ぶ利根導水路と、霞ヶ浦と那珂川間の42.9キロメートルを地下20～50mに設けられたトンネルで結ぶ那珂導水路からなります。双方向に水を移動させるとかですが、ポンプを回す電力消費量も馬鹿にならないのではと危惧します。このことに限らず、莫大なお金を要して水や土地を管理することが自然の理にかなっているのどうかや維持できるのかは、歴史にゆだねましょう。

さて、ニッサンメールマガジン第175号をお届けします。

ドミニカ共和国でアフリカ豚熱（ASF）発生

カリブ海の西インド諸島に属するドミニカ共和国は、40年ぶりに発生したASFを抑制するために、50万頭以上の豚を屠殺しなければならない可能性があります。ドミニカ農業省は、被災地を隔離するために、病気の豚を殺処分し、管理を強化し始めましたが、大量の殺処分を命じることを差し控えており、何頭の豚が病気になっている可能性があるかについては報告していないとのこと。ドミニカ共和国では小規模な庭先養豚が多く存在しています。米国、メキシコ、ブラジルなどは、この発生に対応して国境管理を厳戒体制で強化しています。ドミニカ共和国は、大量の豚肉製品を輸出はしていませんが、旅行者がうっかり持ち込んでしまう恐れがあります。

中国に次ぐ豚肉生産国である米国は、ASFの発生は一度もなく、ドミニカ共和国からの到着便の検査を強化しています。この病気は豚の群れを襲い、発熱、体重減少、病変、衰弱を引き起こし、通常7～10日で斃死させます。ASFは人間に伝染することはありませんが、ワクチンがないために、大量殺処分以外に制御する有効な方法がありません。

3年前に中国で大発生したASFでは、中国での豚肉の輸入激増により、世界的に価格の高騰を招きました。現在、中国における豚肉生産は、メガファームなどの生産拡大により、以前と同じレベルになりつつあります。しかし、依然としてASFは中国国内で散発しており、韓国や東南アジア諸国でも発生し続けています。わが国でもASFが侵入した場合、養豚業は全滅するともいわれています。厳重な警戒を怠らないようにしたいものです。
(農水省などのHPを編集・改変)

お知らせ

印刷用の PDF ファイル

印刷用に PDF ファイルを添付しました。PDF ファイルをご利用いただくためには、Adobe Reader が必要です。お持ちでない場合、[こちらからダウンロードし、インストールしてご利用ください](#)。

メールマガジンへの登録・質問等

メールマガジンの配信の停止、登録内容の変更等は[当社のウェブサイト](#)のトップページにある「お問い合わせ」のページをご利用ください。

このメールマガジンへのお問い合わせ、ご意見・ご要望等、並びに技術的な問題等がございましたら、[当社のウェブサイト](#)のトップページにある「お問い合わせ」のページをご利用ください。

アドレス変更をお忘れなく

人事異動、転退職等でメールアドレスが変更になった場合で、引き続き日産合成工業株式会社のメールマガジンの配信を希望される方は、旧アドレスと新アドレス及び新所属等を[当社のウェブサイト](#)のトップページにある「お問い合わせ」のページを利用してお知らせください。配信できなくなったアドレスは、メーリングリストから自動的に削除しておりますので、よろしく願います。

また、今後の配信が不要な場合にも[当社のウェブサイト](#)のトップページにある「お問い合わせ」のページを利用してお知らせください。

QRコード

このメールマガジンを紙媒体でお読みの方が、容易に[当社のウェブサイト](#)のトップページにアクセスできるように QR コードを添付しました。

